

# 研修報告

## 長野県南箕輪村及び四賀むらづくり株式会社(松本市) 視察研修

議会では、議員全員にて6月23日・24日の日程で視察研修を行いました。

23日は、人口が毎年増加している長野県南箕輪村役場を訪れ、唐木村長、原議長、丸山副議長及び各担当の方々から南箕輪村についてお聞きし、人口増の要因について伺いました。特に59歳以下の人口が多いのに驚きました。若い人が多いひとつの要因として、現在の唐木村長が平成17年に就任以来、子育て支援施策を続行していることが大きいのではないかと思います。それは、諏訪市の宿泊先の従業員の方から聞いたところ、「子育てをするのに住みたいところは南箕輪村」と言われたことから伺われます。

また、農業についても『農業者が希望と誇りをもって取り組める農業の実現 誰もが住みたくするような生き生きとした農村づくり』のため5年をかけ「農事組合法人」を設立、現在5年が経過し、順調な経営状況だそうです。

2日目は、四賀むらづくり(株)において、滞在型クラインガルテンを視察しました。「ドイツ語で小さな庭」という意味の「クラインガルテン」。1区画が約82坪以上、敷地にラウベ(休憩小屋)建坪8~9坪、畑約30~36坪を年間契約する。また、管理棟もあり、有機栽培の指導、農園の管理、農具のレンタルなどもあり、野菜づくりなど思い思いの利用ができるため、都会在住の方が多く契約され、観光の拠点としても利用しているそうです。また、地区住民が田舎の親戚となってボランティアで参加されコミュニケーションを図っているとのことでした。

2日間の視察研修で、このような取組を当町においても注視し、人口減対策の一環として、また、若い世代が定住出来る様な子育て支援策や農業振興など、やはり特徴のある事業を行わなければ町の活性化、人口の増加は見られないのではと感じました。

(文 研修委員 植竹美智雄)



唐木村長から説明



滞在型クラインガルテン